

医療機関の皆様へ

横浜市保健所長
岩田 眞美

インフルエンザの報告増加に関する注意喚起等について（周知）

日ごろから、横浜市の感染症対策に御協力いただき厚く御礼申し上げます。

現在、横浜市内では、インフルエンザの定点あたりの報告数が第 33 週（8 月 10 日から 8 月 16 日）時点で 1.22 となっており、令和 7 年 4 月までの流行期入り基準※である 1.0 を超えました。区別の流行状況としては、神奈川区、港南区、旭区、磯子区、金沢区、港北区、緑区、都筑区、栄区、泉区、瀬谷区の市内 11 区で、定点医療機関あたりの患者報告数が 1.0 を超えています。最新情報は「横浜市メディカルダッシュボード」に反映されていますので、ぜひ御活用ください。

ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、引き続き、管内の流行に注意していただき、手洗いの励行や咳エチケット等の感染予防策を徹底するようお願いいたします。

※令和 7 年 4 月 7 日からの急性呼吸器感染症 (ARI) のサーベイランス開始に伴い、定点医療機関数に変更があったため、開始前に使用していた基準を参考としています。

	参考 URL (横浜市ウェブサイト)	二次元コード
横浜市メディカル ダッシュボード (感染症)	https://iryo-dashboard.city.yokohama.lg.jp/infectious/	

添付資料

- ・2026-2027 横浜市インフルエンザ流行情報
- ・「インフルエンザの流行が始まりました」（記者発表：令和 8 年 8 月 19 日）

担 当：横浜市医療局健康安全課健康危機管理係
電 話：045-671-2463 FAX：045-664-7296
E-mail：ir-kenkoukiki@city.yokohama.lg.jp

インフルエンザの流行が始まりました ～手洗い・咳エチケット等に努めましょう～

横浜市では、感染症法に基づき感染症発生動向調査を実施しています。令和 8 年第 33 週（8 月 10 日～8 月 16 日）の全市集計において、流行期入りの目安となる基準（1 定点医療機関※¹ 当たり 1 週間の患者報告数 1.00 人）を超え、「1.22」となり、流行期に入りましたのでお知らせします。昨年より 1 か月半程度早い流行期入りとなっています。

市民の皆さま一人ひとりが早めに予防策を取りましょう。

※ 1 定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告する医療機関（市内 90 か所）

市内定点当たりの患者報告数

年・週	期 間	患者報告数（人）（※ 2）	備考
令和 8 年第 30 週	7 月 20 日～7 月 26 日	0.51	
第 31 週	7 月 27 日～8 月 2 日	0.66	
第 32 週	8 月 3 日～8 月 9 日	0.49	
第 33 週	8 月 10 日～8 月 16 日	1.22	流行期入り

※ 2 患者報告数は医療機関からの追加報告により、数値が変動します。

【参考】横浜市感染症情報センターWeb ページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>



インフルエンザにかからない、うつさないためのポイント



インフルエンザにかかったかもしれないと思ったときは

- ☐ 人混みへの外出を控え、無理をせず十分に休養をとりましょう。
- ☐ 高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど、具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- ☐ 乳幼児や高齢者、妊婦、免疫力の低下、基礎疾患のある方は特に重症化しやすいため、心配な場合は早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの予防接種について

- ☐ 重症化予防のため予防接種を受けましょう（高齢者インフルエンザ予防接種は、秋頃から開始予定です）。

【参考】厚生労働省 Web ページ 「インフルエンザ（総合ページ）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html



お問合せ先

（感染症対策全般について）医療局健康安全課長	竹澤	Tel 045-671-2442
（感染症発生動向について）医療局衛生研究所感染症・疫学情報課長	赤松	Tel 045-370-9279

横浜市インフルエンザ流行情報

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

横浜市内でインフルエンザの患者報告数が増加し始めました

【第 33 週(8 月 10 日～8 月 16 日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数※¹は、横浜市全体で **1.22** となり、前週 0.49 から増加しました。
- ✓ 昨年(第 39 週(2025 年 9 月 22 日～9 月 28 日))に比べ、1 か月以上早く 1.00 (流行開始の目安)を超えました。
- ✓ 年齢別では小児だけでなく、成人含めて幅広い年齢層で報告がありました。

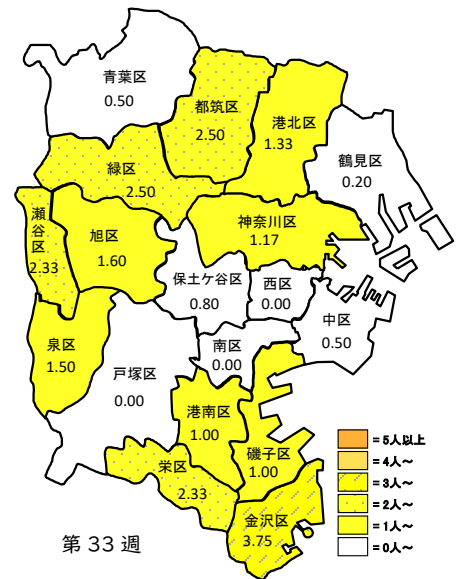
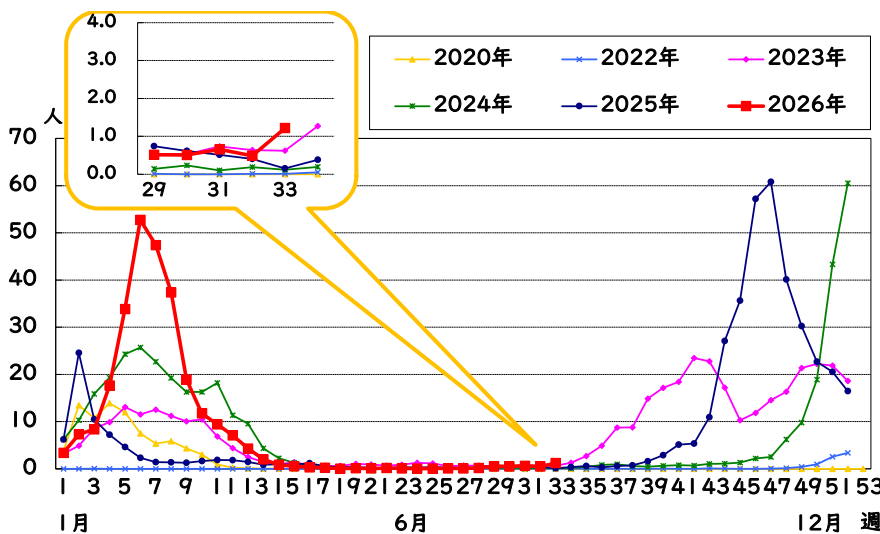
☞ 咳エチケット・正しい手洗い※²等、早めの対策が重要です。

※¹ 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況をご報告いただく医療機関(市内 90 か所)からの患者報告数の平均値です。

※² [インフルエンザ\(総合ページ\)](#) | [厚生労働省](#)

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、7 月中旬(第 29 週 0.51)に増加し、第 33 週に 1.22 となりました。



最新の感染症情報はこちら



横浜メディカル
ダッシュボード



衛生研究所
インスタグラム

【お問い合わせ先】

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL 045(370)9237

横浜市医療局健康安全課

TEL 045(671)2463